

10. 「多良間県立自然公園（平成23年3月29日指定）」に見る生物多様性

主な「指定理由」を以下に示す。

○多良間村（多良間島・水納島）の沿岸部においては、多種多様な海洋生物が見られるサンゴ礁が発達し、優れた海中景観を特徴とする。

○陸上部においては、石灰岩自然植生を基調とした植生が発達し、地形景観とともに風致性を高めている。多良間島には、県内に残された貴重な抱護やフクギ等の大木が広範囲に広がる自然豊かな森が残されている。

○文化的には、国指定の史跡が1件3ヵ所、県指定の史跡が2ヵ所、県指定天然記念物としての植物群落が5ヵ所、村指定天然記念物が6ヵ所存在し、さらに国、県、村合わせて65件の文化財指定がなされている。特に、国指定重要無形民俗文化財の指定を受けた「多良間の豊年祭」は、400年に近い伝統を保つ国内外に誇る重要な祭祀である。

○以上のように、多良間村は、亜熱帯の優れた風致景観と生物多様性豊かな自然環境を有しており、地域の自然的、社会的諸条件に配慮しながら、これらの保護と適正な利用の促進を図っていくため、多良間村の陸域及び周辺海域について、沖縄県立自然公園として指定された。



①陸域生物 《植生》

表3.1.2-1 多良間島及び水納島の重要な植物群落及び重要な植物一覧

区分	名称	資料
県指定天然記念物	塩川御嶽の植物群落並びにフクギ並木	1,3
	運城御嶽のフクギ群落	1,3
	多良間島の土原御嶽の植物群落	1,3
	多良間島の嶺原の植物群落	1,3
	多良間島の抱護林	1,3
村指定天然記念物	泊御嶽植物群落	1,3
	嶺間御嶽植物群落	1,3
	普天間御嶽植物群落	1,3
	水納御嶽植物群落	1,3
	水納島バナリのみズガンビ	1,3
	しゅれーうがん	1,3
特定植物群落	多良間島塩川御嶽の植生	1,2
	多良間島運城嶽のフクギ群落	1,2
	多良間島土原御嶽の植生	1,2
	多良間島嶺原のテリハボク群落	1,2
	多良間島の抱護林	1,2

資料：1. 「自然環境の保全に関する指針[宮古・久米島編]」（平成11年）沖縄県

2. 「自然環境保全基礎調査 自然環境情報GISデータ 特定植物群落調査(第2回)」環境省

3. 「文化行政要覧 平成19年度版」（平成19年）沖縄県教育庁文化課